

豪州高配当株 ツインαファンド (毎月分配型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合				
信託期間	2012年8月31日から2023年4月25日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド」および親投資信託である「T&Dマネーブルマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド</td> <td>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</td> </tr> <tr> <td>T&Dマネーブルマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。	T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。			
T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。				

運用報告書(全体版)(第18作成期)


第101期(2021年2月25日) 第104期(2021年5月25日)
第102期(2021年3月25日) 第105期(2021年6月25日)
第103期(2021年4月26日) 第106期(2021年7月26日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)」は、2021年7月26日に第106期決算を行いましたので、第101期から第106期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・ト トラース II (ケイマン) 豪州高配当株・ ツインαファンド 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率						
第 14 作 成 期	77期 (2019年2月25日)	円 2,337	円 50	% 2.6	% —	% —	% 99.0	% 99.0	百万円 6,346
	78期 (2019年3月25日)	2,276	50	△ 0.5	—	—	98.9	98.9	6,187
	79期 (2019年4月25日)	2,300	50	3.3	—	—	97.8	97.8	6,150
	80期 (2019年5月27日)	2,231	50	△ 0.8	—	—	99.0	99.0	6,020
	81期 (2019年6月25日)	2,190	50	0.4	—	—	98.8	98.8	5,804
	82期 (2019年7月25日)	2,195	50	2.5	—	—	99.0	99.0	5,764
第 15 作 成 期	83期 (2019年8月26日)	2,038	50	△ 4.9	—	—	99.1	99.1	5,324
	84期 (2019年9月25日)	2,091	35	4.3	—	—	99.0	99.0	5,439
	85期 (2019年10月25日)	2,077	35	1.0	—	—	99.3	99.3	5,269
	86期 (2019年11月25日)	2,020	35	△ 1.1	—	—	99.1	99.1	5,022
	87期 (2019年12月25日)	2,033	35	2.4	—	—	99.4	99.4	4,920
	88期 (2020年1月27日)	2,009	35	0.5	—	—	99.3	99.3	4,808
第 16 作 成 期	89期 (2020年2月25日)	1,973	35	△ 0.0	—	—	99.2	99.2	4,708
	90期 (2020年3月25日)	1,131	35	△40.9	—	—	98.7	98.7	2,637
	91期 (2020年4月27日)	1,275	35	15.8	—	—	99.0	99.0	2,972
	92期 (2020年5月25日)	1,326	35	6.7	—	—	99.0	99.0	3,098
	93期 (2020年6月25日)	1,324	35	2.5	—	—	98.9	98.9	3,211
	94期 (2020年7月27日)	1,320	35	2.3	—	—	98.9	98.9	3,228
第 17 作 成 期	95期 (2020年8月25日)	1,313	35	2.1	—	—	98.7	98.7	3,170
	96期 (2020年9月25日)	1,219	35	△ 4.5	—	—	98.9	98.9	2,901
	97期 (2020年10月26日)	1,270	25	6.2	—	—	99.1	99.1	3,010
	98期 (2020年11月25日)	1,364	25	9.4	—	—	99.0	99.0	3,070
	99期 (2020年12月25日)	1,346	25	0.5	—	—	98.9	98.9	2,947
	100期 (2021年1月25日)	1,366	25	3.3	—	—	98.8	98.8	2,998
第 18 作 成 期	101期 (2021年2月25日)	1,389	25	3.5	—	—	99.0	99.0	3,029
	102期 (2021年3月25日)	1,407	25	3.1	—	—	99.0	99.0	3,002
	103期 (2021年4月26日)	1,410	25	2.0	—	—	99.0	99.0	3,028
	104期 (2021年5月25日)	1,411	25	1.8	—	—	99.0	99.0	2,966
	105期 (2021年6月25日)	1,413	25	1.9	—	—	99.1	99.1	2,938
	106期 (2021年7月26日)	1,360	25	△ 2.0	—	—	99.2	99.2	2,786

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)II-豪州高配当株・ツインαファンド組入比率
		円	騰 落 率			
第101期	期 首 (前期末) 2021年 1 月25日	1,366	—	—	—	98.8
	1 月末	1,349	△1.2	—	—	98.7
	期 末 2021年 2 月25日	1,414	3.5	—	—	99.0
第102期	期 首 (前期末) 2021年 2 月25日	1,389	—	—	—	99.0
	2 月末	1,397	0.6	—	—	98.9
	期 末 2021年 3 月25日	1,432	3.1	—	—	99.0
第103期	期 首 (前期末) 2021年 3 月25日	1,407	—	—	—	99.0
	3 月末	1,410	0.2	—	—	98.9
	期 末 2021年 4 月26日	1,435	2.0	—	—	99.0
第104期	期 首 (前期末) 2021年 4 月26日	1,410	—	—	—	99.0
	4 月末	1,431	1.5	—	—	98.8
	期 末 2021年 5 月25日	1,436	1.8	—	—	99.0
第105期	期 首 (前期末) 2021年 5 月25日	1,411	—	—	—	99.0
	5 月末	1,437	1.8	—	—	99.0
	期 末 2021年 6 月25日	1,438	1.9	—	—	99.1
第106期	期 首 (前期末) 2021年 6 月25日	1,413	—	—	—	99.1
	6 月末	1,409	△0.3	—	—	99.0
	期 末 2021年 7 月26日	1,385	△2.0	—	—	99.2

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

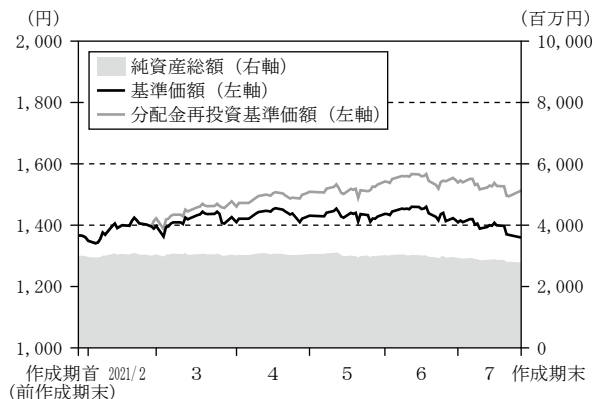
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第101期首：1,366円

第106期末：1,360円（既払分配金150円）

騰落率：10.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2021年1月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている外国投資信託において、保有しているオーストラリア高配当株式の価格上昇などがプラス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト （ケイマン）II-豪州高配当株・ツインαファンド	11.7%
T&Dマネーブルマザーファンド	△ 0.0

■ 投資環境

【オーストラリア株式市況】

オーストラリア株式市場は上昇しました。作成期初から2021年3月終盤にかけては、主要国での新型コロナウイルスワクチン普及による景気回復への期待が投資家心理を上向かせた一方、債券利回りの上昇や、新型コロナウイルス感染拡大防止策が豪経済に及ぼす影響が懸念材料となって、株価は上下に振れる展開となりました。4月には、RBA（オーストラリア準備銀行）が低金利政策を長期にわたり維持する方針を示したことや、豪雇用統計の堅調さなどを好感して株価は上昇し、オーストラリアの主要輸出品目である鉄鉱石価格の上昇なども好材料となって、5月上旬にかけて株価は概ね上昇基調で推移しました。その後は、急速な商品高に対する警戒感がくすぶるなか、中国当局が取引規制に動き鉄鉱石の価格が急反落したこと、インフレの進行が米国の早期の利上げにつながるとの警戒感が広がったことなどから株価は下落しました。5月下旬には、米国長期金利が安定したことや、一部の国での新型コロナウイルスワクチン接種の進捗が世界経済正常化への期待を強めたことなどから株価は史上最高値を更新し、豪経済の順調な回復、鉄鉱石や原油の価格上昇も好感され、6月前半にかけて株価は値を上げる展開が続きました。その後は、利上げが前倒しされるとの警戒感から米国株が下落したことや、新型コロナウイルス変異株の感染者増加に伴い、シドニーなど複数の大都市においてロックダウン（都市封鎖）が実施されたことなどが懸念されるな

か、株価は方向感のない展開となりました。

【為替市況】

豪ドルは対円で上昇しました。作成期初から2021年4月終盤にかけては、米国の10年債利回りの急上昇や、豪小売売上高が予想外のマイナスとなったことなどが投資家のリスク回避姿勢を強め、豪ドルが円に対し急落する局面はありましたが、新型コロナウイルスワクチンの普及による経済活動正常化への期待や世界経済の回復に対する楽観的な見方が投資家心理を上向かせたことや、豪経済の順調な回復を示す経済指標が散見されたこと、鉄鉱石をはじめ国際商品価格が上昇したことなどが好材料となって、豪ドルは円に対し概ね上昇基調で推移しました。5月上旬には、鉄鉱石価格が過去最高水準となったことや、主要貿易相手国である中国の貿易の堅調さを示す経済指標などが好材料となって、豪ドルは円に対し作成期間中の最高値に上昇しました。しかしその後は、RBAが2024年まで政策金利を据え置く見通しを示したことや、米国の金融緩和政策の解除が前倒しされるとの観測から投資家がリスク回避姿勢を強めたことなどを背景に、豪ドルは円に対し下落しました。その後も、新型コロナウイルス変異株の感染者増加を受けて、シドニーなど複数の都市がロックダウンに入ったことが豪ドルの弱気材料となる展開が続きました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.09\%$ から作成期末は $\Delta 0.11\%$ となりました。作成期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

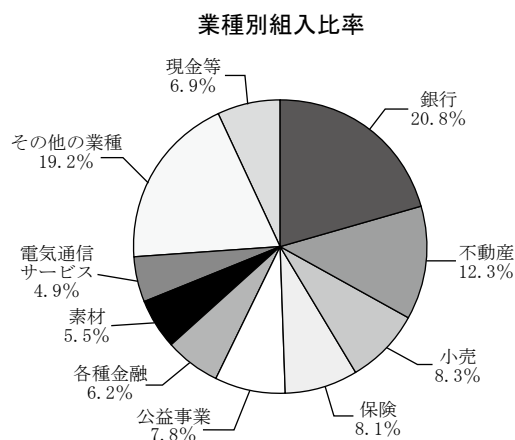
【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド」を概ね高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）への投資を行うと同時に、スワップ取引を通じて、オーストラリア株式市場全体（株価指数等）にかかるコールオプションを売却する「株式オプションα戦略」および、円に対する豪ドルのコールオプションを売却する「通貨オプションα戦略」を組合わせた運用を行いました。

＜クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンドの組入状況＞
2021年6月30日現在（現地基準）



組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	5.8%
2	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	5.2%
3	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	銀行	5.1%
4	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	4.9%
5	BHP GROUP LTD	素材	4.4%
6	WESTPAC BANKING CORP	銀行	3.8%
7	SUNCORP GROUP LTD	保険	3.5%
8	MEDIBANK PRIVATE LTD	保険	3.3%
9	HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	小売	3.3%
10	SCENTRE GROUP	不動産	3.1%

(注) 比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率（リートを含む）です。

(注) 組入状況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに当社が作成したものです。

(注) 現金等は、未払金等が多い場合、マイナスになることがあります。

【T&Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第101期から第106期まで各25円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド」への投資比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T&Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、「株式オプション α 戦略」および「為替オプション α 戦略」を活用し、引続き年率15%の目標オプション料（プレミアム収入）の獲得を目指します。

【T&Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの流行などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2021年 1 月26日から2021年 7 月26日まで)

費用の明細

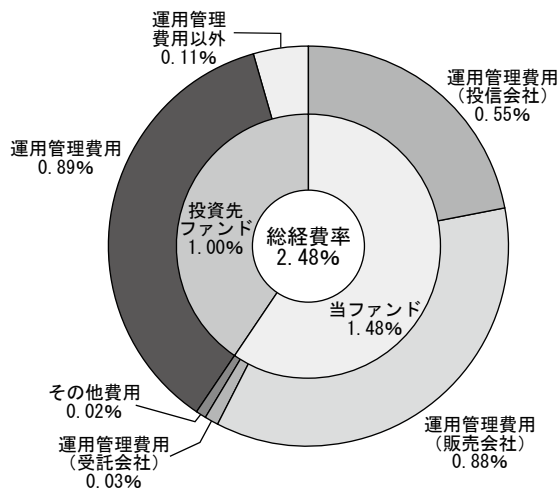
項目	第101期～第106期		項目の概要
	2021/ 1 /26～2021/ 7 /26		
	金額	比率	
平均基準価額	1,405円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	10円 (4) (6) (0)	0.729% (0.274) (0.439) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.037 (0.037)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	11	0.774	

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.48%です。



総経費率 (①+②+③)	2.48%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

- (注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。
- (注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2021年1月26日から2021年7月26日まで)

(1) 投資信託証券

		第 101 期 ~ 第 106 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	口 114,516	千円 158,000	口 268,138	千円 368,888

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当作成期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2021年1月26日から2021年7月26日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2021年7月26日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第100期末)	当 作 成 期 末 (第 106 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	口 2, 215, 188	口 2, 061, 565	千円 2, 763, 734	% 99. 2

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 100 期 末)	当 作 成 期 末 (第 106 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 13, 070	千口 13, 070	千円 13, 263

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は407, 425千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2021年7月26日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 106 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	千円 2, 763, 734	% 97. 0
T & D マネープールマザーファンド	13, 263	0. 5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	72, 070	2. 5
投 資 信 託 財 産 総 額	2, 849, 067	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年2月25日現在 2021年3月25日現在 2021年4月26日現在 2021年5月25日現在 2021年6月25日現在 2021年7月26日現在

項 目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
(A) 資 産	3,150,360,020円	3,083,711,614円	3,144,210,174円	3,050,575,729円	3,021,369,339円	2,849,067,461円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	121,370,189	98,407,556	133,964,459	100,720,595	95,961,318	72,069,167
クレディ・スイス・ユニバーサル・ トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ ツインαファンド(評価額)	2,998,774,730	2,972,039,260	2,996,980,917	2,936,591,643	2,912,144,530	2,763,734,803
T&Dマネーブルマザーファンド(評価額)	13,266,105	13,264,798	13,264,798	13,263,491	13,263,491	13,263,491
未 収 入 金	16,948,996	-	-	-	-	-
(B) 負 債	121,239,828	80,906,282	116,092,572	83,718,138	82,476,219	62,538,772
未 払 金	40,000,000	16,000,000	55,000,000	24,000,000	23,000,000	-
未 払 収 益 分 配 金	54,524,765	53,348,359	53,684,819	52,555,789	51,993,302	51,208,386
未 払 解 約 金	22,920,802	8,097,399	3,464,062	3,594,755	3,707,660	7,710,534
未 払 信 託 報 酬	3,754,554	3,424,335	3,902,409	3,530,277	3,735,774	3,582,028
未 払 利 息	196	151	213	166	170	129
そ の 他 未 払 費 用	39,511	36,038	41,069	37,151	39,313	37,695
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,029,120,192	3,002,805,332	3,028,117,602	2,966,857,591	2,938,893,120	2,786,528,689
元 本	21,809,906,068	21,339,343,706	21,473,927,634	21,022,315,906	20,797,320,898	20,483,354,607
次 期 繰 越 損 益 金	△18,780,785,876	△18,336,538,374	△18,445,810,032	△18,055,458,315	△17,858,427,778	△17,696,825,918
(D) 受 益 権 総 口 数	21,809,906,068口	21,339,343,706口	21,473,927,634口	21,022,315,906口	20,797,320,898口	20,483,354,607口
1万口当たり基準価額(C/D)	1.389円	1.407円	1.410円	1.411円	1.413円	1.360円

(注) 当ファンドの第101期首元本額は21,954,277,888円、第101～106期中追加設定元本額は2,059,437,345円、第101～106期中一部解約元本額は3,530,360,626円です。

(注) 元本の欠損

第106期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は17,696,825,918円です。

(注) 第106期末の1口当たり純資産額は0.1360円です。

損益の状況

自2021年1月26日 自2021年2月26日 自2021年3月26日 自2021年4月27日 自2021年5月26日 自2021年6月26日
至2021年2月25日 至2021年3月25日 至2021年4月26日 至2021年5月25日 至2021年6月25日 至2021年7月26日

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(A) 配 当 等 収 益	54,563,640円	54,720,015円	53,205,768円	52,571,371円	51,910,101円	51,639,746円
受 取 配 当 金	54,565,531	54,722,084	53,207,801	52,573,759	51,911,855	51,641,887
受 取 利 息	-	14	-	-	27	-
支 払 利 息	△ 1,891	△ 2,083	△ 2,033	△ 2,388	△ 1,781	△ 2,141
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	53,465,774	40,248,932	9,258,645	5,267,230	7,125,994	△ 104,819,284
売 買 益	54,137,789	41,972,315	9,796,731	5,994,897	8,515,296	632,090
売 買 損	△ 672,015	△ 1,723,383	△ 538,086	△ 727,667	△ 1,389,312	△ 105,451,374
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,794,065	△ 3,460,373	△ 3,943,478	△ 3,567,428	△ 3,775,087	△ 3,619,723
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	104,235,349	91,508,574	58,520,935	54,271,173	55,260,998	△ 56,799,261
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 7,724,803,387	△ 7,418,753,982	△ 7,227,527,200	△ 6,952,379,253	△ 6,779,830,656	△ 6,621,024,445
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△11,105,693,073	△10,955,944,607	△11,223,118,948	△11,104,794,446	△11,081,864,818	△10,967,793,826
(配 当 等 相 当 額)	(2,495,345,788)	(2,440,059,596)	(2,455,813,680)	(2,400,903,610)	(2,372,460,236)	(2,333,367,816)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,601,038,861)	(△13,396,004,203)	(△13,678,932,628)	(△13,505,698,056)	(△13,454,325,054)	(△13,301,161,642)
(G) 合 計 (D + E + F)	△18,726,261,111	△18,283,190,015	△18,392,125,213	△18,002,902,526	△17,806,434,476	△17,645,617,532
(H) 収 益 分 配 金	△ 54,524,765	△ 53,348,359	△ 53,684,819	△ 52,555,789	△ 51,993,302	△ 51,208,386
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△18,780,785,876	△18,336,538,374	△18,445,810,032	△18,055,458,315	△17,858,427,778	△17,696,825,918
追 加 信 託 差 損 益 金	△11,107,570,861	△10,956,566,818	△11,226,957,054	△11,108,021,299	△11,085,267,453	△10,970,982,189
(配 当 等 相 当 額)	(2,493,468,281)	(2,439,437,385)	(2,451,975,574)	(2,397,676,757)	(2,369,057,601)	(2,330,179,453)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,601,038,861)	(△13,396,004,203)	(△13,678,932,628)	(△13,505,698,056)	(△13,454,325,054)	(△13,301,161,642)
繰 越 損 益 金	△ 7,673,215,296	△ 7,379,971,556	△ 7,218,852,978	△ 6,947,437,016	△ 6,773,160,325	△ 6,725,843,729

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第101期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（52,647,258円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,495,345,788円）より、分配対象収益は2,547,993,046円（1万口当たり1,168円）であり、うち54,524,765円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第102期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（52,726,148円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,440,059,596円）より、分配対象収益は2,492,785,744円（1万口当たり1,168円）であり、うち53,348,359円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第103期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（49,846,713円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,455,813,680円）より、分配対象収益は2,505,660,393円（1万口当たり1,166円）であり、うち53,684,819円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第104期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（49,328,936円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,400,903,610円）より、分配対象収益は2,450,232,546円（1万口当たり1,165円）であり、うち52,555,789円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第105期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（48,590,667円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,372,460,236円）より、分配対象収益は2,421,050,903円（1万口当たり1,164円）であり、うち51,993,302円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第106期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（48,020,023円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,333,367,816円）より、分配対象収益は2,381,387,839円（1万口当たり1,162円）であり、うち51,208,386円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2021年1月26日 ～2021年2月25日	2021年2月26日 ～2021年3月25日	2021年3月26日 ～2021年4月26日	2021年4月27日 ～2021年5月25日	2021年5月26日 ～2021年6月25日	2021年6月26日 ～2021年7月26日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	1.768	1.746	1.742	1.741	1.739	1.805
当期の収益	24	24	23	23	23	23
当期の収益以外	0	0	1	1	1	1
翌期繰越分配対象額	1,143	1,143	1,141	1,140	1,139	1,137

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
投資態度	<p>[高配当株投資]</p> <ul style="list-style-type: none"> 主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資を行います。 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 <p>[株式オプションα戦略・通貨オプションα戦略]</p> <ul style="list-style-type: none"> スワップ取引を通じて、実質的に豪州株価指数等*を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 *市場環境によっては、豪州株保有銘柄を対象とする場合があります。 スワップ取引を通じて、実質的に豪ドル（対円）を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 原則として概ね保有する豪ドル建資産の評価額程度のコールオプションの売却を行います。 <p>※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>転換社債、ワラントへの投資は行いません。</p> <p>同一発行体への投資割合は、原則として、純資産総額の10%以下とします。</p> <p>同一業種への投資割合は、原則として、純資産総額の35%以下とします。</p>
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド（各オプションα戦略の運用）
副投資顧問会社	<p>レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッド*（豪州高配当株の運用）</p> <p>※レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドの株式運用部門は、マーティン・カリー・オーストラリアのブランド名で事業活動を行っています。</p>

※次ページ以降の記載は、バンクオブニューヨークメロン証券株式会社およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2020年2月1日～2021年1月31日

単位：円

収益

受取配当金	138,056,132
受取利息	588
スワップ取引に係る収益・費用	(302,721,071)
投資に係る純損益	(331,544,913)
投資純損益	(496,209,264)
その他収益	1,452,810
外国為替取引に係る純損益	11,532,028
収益合計	(483,224,426)

費用

投資顧問料	15,898,694
その他費用	3,664,490
取引手数料	1,452,810
管理・保管費用	10,866,425
事務代行手数料	1,559,959
運用報酬	541,091
運用費用合計	33,983,469
税引前損益	(517,207,895)
源泉徴収税	(7,747,327)

期中の純資産変動 **(524,955,222)**

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2021年1月31日

1. 株式現物

銘柄名	株数	評価額		業種
		株	円	
AUST AND NZ BANKING GROUP	88,732		168,996,363	銀行
WESTPAC BANKING CORP	56,245		95,466,049	銀行
SCENTRE GROUP	443,772		97,316,858	不動産
AUSNET SERVICES	390,035		54,201,988	公益事業
MEDIBANK PRIVATE LTD	385,934		90,523,518	保険
AGL ENERGY LTD	89,187		82,173,258	公益事業
VICINITY CENTRES	497,707		61,368,805	不動産
VIVA ENERGY GROUP LTD	241,032		33,785,914	エネルギー
COLES GROUP LTD	56,166		82,157,833	食品・生活必需品小売り
INGHAMS GROUP LTD	135,213		35,733,856	食品・飲料・タバコ
TELSTRA CORP LTD	484,431		121,409,328	電気通信サービス
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	44,061		32,561,748	銀行
ASX LTD	4,634		26,723,019	各種金融
BHP GROUP LTD	44,326		155,100,053	素材
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	225,467		96,714,096	小売
TRANSURBAN GROUP	35,832		38,108,738	運輸
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	19,150		128,461,443	銀行
CHARTER HALL RETAIL REIT	77,944		22,289,392	不動産
APA GROUP	104,720		82,352,703	公益事業
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	159,691		62,213,941	保険
G. U. D. HOLDINGS LTD	26,170		25,078,970	自動車・自動車部品
GPT GROUP	101,910		35,364,383	不動産
GWA GROUP LTD	80,739		22,375,255	資本財
SUNCORP GROUP LTD	104,585		84,682,850	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	83,934		158,712,054	銀行
JB HI-FI LTD	20,235		84,148,602	小売
IOOF HOLDINGS LTD	269,303		67,493,402	各種金融
STOCKLAND	346,036		123,693,485	不動産
TABCORP HOLDINGS LTD	136,360		43,704,426	消費者サービス
WESFARMERS LTD	13,782		60,457,468	小売
ALUMINA LTD	98,837		13,457,203	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	24,921		48,985,209	エネルギー
WOOLWORTHS GROUP LTD	17,560		57,635,280	食品・生活必需品小売り
DEXUS	21,953		15,888,548	不動産
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	422,912		74,737,441	公益事業
MACQUARIE GROUP LTD	4,092		43,191,325	各種金融
AURIZON HOLDINGS LTD	276,900		82,298,177	運輸
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	133,537		24,993,269	不動産
STAR ENTERTAINMENT GRP LTD/T	121,232		33,597,108	消費者サービス
PENDAL GROUP LTD	39,527		19,622,207	各種金融
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDIN	437,121		84,622,187	メディア・娯楽
合計			2,772,397,752	

(注) 日付は現地基準です。

(注) リートを含まず。

2. スワップ

想定元本額	評価額
円	円
2,904,052,052	(8,540,817)

(注) () 書きは負数です。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第33期（決算日 2021年6月10日）
（計算期間 2020年12月11日から2021年6月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2021年6月10日に第33期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純資産総額
	円	騰落率			
29期（2019年6月10日）	10,161	△0.0	—	—	百万円 652
30期（2019年12月10日）	10,158	△0.0	—	—	733
31期（2020年6月10日）	10,154	△0.0	—	—	575
32期（2020年12月10日）	10,151	△0.0	—	—	430
33期（2021年6月10日）	10,148	△0.0	—	—	430

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	債券組入比率 %	債券先物比率 %
		%		
期首 (前期末) 2020年12月10日	10,151	—	—	—
12月末	10,151	0.0	—	—
2021年 1 月末	10,150	△0.0	—	—
2 月末	10,150	△0.0	—	—
3 月末	10,149	△0.0	—	—
4 月末	10,149	△0.0	—	—
5 月末	10,149	△0.0	—	—
期 末 2021年 6 月10日	10,148	△0.0	—	—

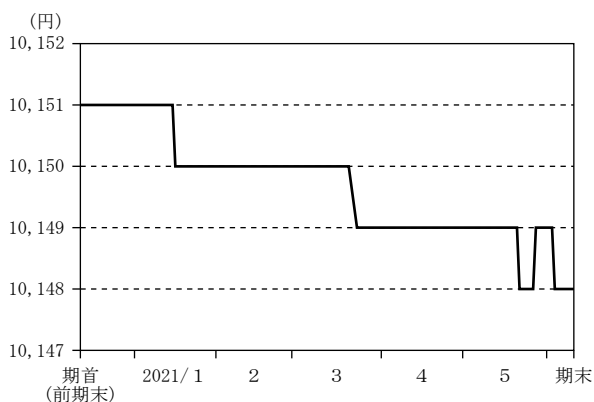
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,151円から期末は10,148円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初の $\Delta 0.09\%$ から期末は $\Delta 0.10\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの流行などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2020年12月11日から2021年6月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2020年12月11日から2021年6月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2020年12月11日から2021年6月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2021年6月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2021年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 430,361	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	430,361	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	430,361,625円
コール・ローン等	430,361,625
(B) 負 債	742
未 払 利 息	742
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	430,360,883
元 本	424,068,885
次 期 繰 越 損 益 金	6,291,998
(D) 受 益 権 総 口 数	424,068,885口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,148円

(注) 期首元本額 424,071,260円
 期中追加設定元本額 195,109,963円
 期中一部解約元本額 195,112,338円

(注) 1口当たり純資産額は1.0148円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T&Dインド中小型株ファンド	69,040,591円
米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース	1,653,709円
米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース	57,394,392円
米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネーボール・コース	88,475円
豪州高配当株ツインαファンド (毎月分配型)	13,070,055円
野村エマーゼンツ債券投信 (円コース) 毎月分配型	15,203,451円
野村エマーゼンツ債券投信 (円コース) 年2回決算型	4,690,232円
野村エマーゼンツ債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型	6,884,550円
野村エマーゼンツ債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型	1,424,313円
野村エマーゼンツ債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型	13,394,468円
野村エマーゼンツ債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型	1,651,239円
野村エマーゼンツ債券投信 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型	124,252,174円
野村エマーゼンツ債券投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型	7,765,966円
野村エマーゼンツ債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型	1,413,489円
野村エマーゼンツ債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型	131,726円
野村エマーゼンツ債券投信 (カナダドルコース) 毎月分配型	1,038,862円
野村エマーゼンツ債券投信 (カナダドルコース) 年2回決算型	160,506円
野村エマーゼンツ債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型	43,012,339円
野村エマーゼンツ債券投信 (メキシコペソコース) 年2回決算型	7,932,323円
野村エマーゼンツ債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型	33,235,413円
野村エマーゼンツ債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型	4,042,047円
野村エマーゼンツ債券投信 (金コース) 毎月分配型	10,580,958円
野村エマーゼンツ債券投信 (金コース) 年2回決算型	5,829,793円
野村エマーゼンツ債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	177,814円

損益の状況

当期 自2020年12月11日 至2021年6月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 134,407円
受 取 利 息	670
支 払 利 息	△ 135,077
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 134,407
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	6,406,930
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,907,137
(E) 解 約 差 損 益 金	△2,887,662
(F) 合 計 (B+C+D+E)	6,291,998
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	6,291,998

(注) 損益の状況の中で

(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。